

～ 受入団体と活動内容など ～

【受入団体の概要】

【豊北町むらおこし物産振興協同組合】

豊北町むらおこし物産振興協同組合は、平成 4年10月、下関市商工会、山口県漁協、角島漁協、山口県農協、山口県西部森林組合の5 団体が出資し、豊北町の観光開発、特産品開発による地域活性化を目標として設立された協同組合です。

設立時より豊北町の地域振興のために取り組んでおり、平成23年 4月から「角島サイクルポート」、平成24年 4月から「しおかぜの里角島」の指定管理者として、それぞれの施設を管理運営しています。

【地域おこし協力隊募集にあたって】

豊北町は高齢化率50%を超える過疎地域です。

地元スーパーは1店舗しかなく、若者は生活水準の高い市街地へ移住する傾向にあり、担い手の確保と定住が大きな課題となっています。

隊員には、当該協同組合の活動、地域資源の再発掘及び利活用や地域の魅力発信といった地域振興活動に沿った取り組みを自主的に行っていただくとともに、町の中心部にある「滝部駅」周辺の賑わいを創出する新規事業（イベント）の企画・実施をお願いしたいと考えています。昭和の時代には町の交通要所であり、賑わいのあった滝部駅周辺も、今では活気はなく閑散としています。

観光名所「角島」のイメージが強い豊北町ですが、観光名所だけでなく町の中心部にも賑わいを創出いただける方の応募をお待ちしています。



【受入団体の概要】

【株式会社海耕舎】

動画 <https://youtu.be/aY5BGrPAszU>

動画ショートバージョン <https://www.youtube.com/watch?v=oS0riw7KnKA>

2016年に株式会社海耕舎を設立し、NPOと併せて収益事業とボランティアを両立。その志を共有する仲間達とともに人命救助の他、環境保全活動、教育 活動、地域振興のための活動を推進中。



株式会社 海耕舎 代表取締役社長 新名 文博
(プロフィール)

1965年12月31日生まれ A型

学生時代はヨット部の主将を務める。

3回生の時に、競艇選手の試験に合格。以来、モーターボートレーサーとして27年活躍。在職中、レース中の事故(1999年8月)で頸椎を骨折し、リハビリのために始めたサーフィン(2000年)に魅せられる。

波乗りをはじめとする水辺の愛好家を巻き込みビーチクリーンを開始。サーフィン中の仲間が、目の前で溺れていた人を救助したことをきっかけに角島大橋周辺において任意団体のボランティア活動として 海水浴場の未然事故防止に努める活動を展開。

活動の本格化に伴い2012年1月5日NPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブを設立。2015年5月に競艇選手を退職。

【地域おこし協力隊募集にあたって】

一次産業（農業・漁業及び果樹栽培等）を生業とすることで、定住と共に担い手の確保など、地域課題の解決への貢献を期待しています。

【受入団体の概要】

【株式会社hase】

県内で宿泊施設、飲食店を三拠点を運営。
事業を通じて、地域の未活用資源を再編集し、地域住民と連携を図り再価値化することに取り組んでいる。内外問わず、円滑なコミュニケーションを図り、下関市、山口県全体に関係人口増加をもたらす。



【地域おこし協力隊募集にあたって】

(主な業務)

- ・ 地域資源を再編集し、新たな加工品製造やイベントなどを企画。
- ・ 豊北地域、下関市の積極的な情報発信。

(求める人材)

- ・ 人に興味を持って、世代や性別問わずコミュニケーションを図ることができ、主体的に物事を思考し、実践できる人
- ・ 変化に柔軟に対応し、さまざまな状況を楽しめる人

